

# 土曜 ライフ・楽しむ

## ウェブでつなぐエール フレー!



生活情報誌「悠悠と。」  
編集長・真鍋康利さん



先日、生まれて初めてウェブ会議に参加しました。こんな今だからその経験です。所属しているある会で、毎週開催予定の例会をはじめ、すべてのイベントがここ2カ月以上中止となったためです。ITに詳しいメンバーが「ウェブでミーティングしよう。飲みながらでも結構」と呼びかけての開催となりました。

何しろ初めてのこと、何事も経験と思いチャレンジすることになりましたが、丁寧に教えてくれるメンバーもいて、無事参加できました。総勢15人ほどで、上から2番目の年長者でしたが、なんだか慣れてひと安心しました。しばらくぶりに元気そうな顔を見て懐かしく、うれしかったですね。皆経営者なので、おのこの業界の現況や自社の様子なども披露し、またありがたい提案や困りごとへのアドバイスもあり、とても有意義なミーティングでした。

を見ながら近況報告をし、傷をなめました。

ウェブ上では様々な動画が提供されています。特に家にいることを余儀なくされている子どもたちに向けての情報は、学習に関する情報はもちろんのこと、体調管理のための運動、料理や折り紙の手ほどきもあります。

動物園、水族館や遊園地の様子など見ているだけで楽しい動画は見ものです。プロのスポーツ選手たちからの発信もたくさんあり、ミュージシャンのライブ映像も素晴らしい。皆さんご自身も苦しい。

中、前向きに取り組んでいる姿に元気をもらえます。

中でも必見は、本紙4月15日付夕刊でも紹介された「全国大学応援団」の動画です。「社会を覆う不安や疲弊ムードを打破したい」と新型コロナウイルス感染症拡大に苦しむ日本を元気づけようとして企画、25校が参加したものです。皆いろいろな趣向を凝らしてエールを送っています。エールとは応援手法の一つで、応援団や応援する人が応援される人へ発する声のこと、「フレーフレー」が有名です。「フレー」は外国語起源の説明もありますが、「旗を振れ」や、「奮え、奮え」と声をかけたという説がしっくりきます。

とにかくここまで続くかわからないこの状況ですが、何とか乗り切りましょう。

「フレーフレーニッポン」

一度経験すると、そこはそれ、何しろまじごとなき経験者ですから、知ったかぶりして翌日すぐに友人の落語家に連絡。すべての口演の機会や落語教室が中止になっているという彼に勧めようと思ったのですが、すでにウェブを利用しての落語教室を模索しているとのこと。早速試験的に2人だけのミーティングを開催、久しぶりに顔